

## 新たな洪水・土砂災害ハザードマップが完成しました

市は、平成15年に作成した旧ハザードマップを見直し、新たなハザードマップを作成しました。洪水・土砂災害に対応したハザードマップは今回の「広報きたかみ」と共に市内の全世帯に配布しています。

### 住民説明会を開催します

新しいハザードマップは、洪水による浸水想定区域だけでなく、過去の浸水実績や土砂災害の恐れのある箇所を16地区ごとに大きな縮尺で掲載し、インターネットでの閲覧も可能です。

土砂災害について、土砂災害警戒区域別に住民説明会を行う予定です。日程が決まり次第お知らせしますので、ぜひご参加ください。

ハザードマップは、家族で話し合いながら自宅周辺の危険箇所の確認や避難所までの避難ルートなどを書き込み、各家庭オリジナルのマップとして活用いただくものです。また、避難ルートを実際に歩いてみることも大切です。地図だけでなく、洪水や土砂

災害に関する内容や避難勧告基準などを掲載した情報ページにも目を通すことで、災害や避難への理解が深まります。



「暮らしの自立支援センターきたかみ」は1日、北上市総合福祉センター内に開所しました。

同支援センターは、来年4月に施行する生活困窮者自立支援法に向けたモデル事業で、市が北上市社会福祉協議会に委託したものです。生活や就労、ひきこもりなど複合的な課題を抱えて生活に困窮している人の相談を受け自立計画作成、就労支援や家計相談などにより関係機関と連携し自立を支援します。

### 市内の避難者状況

(9月30日現在)

野田村	田野畑村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市
1世帯	1世帯	9世帯	27世帯	69世帯	50世帯
3人	4人	16人	63人	131人	125人
大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	市内間	
14世帯	31世帯	20世帯	19世帯	2世帯	
30人	56人	47人	46人	2人	

※市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

### 暮らしの自立支援センターきたかみ開所

「暮らしの自立支援センターきたかみ」は1日、北上市総合福祉センター内に開所しました。

同支援センターは、来年4月に施行する生活困窮者自立支援法に向けたモデル事業で、市が北上市社会福祉協議会に委託したものです。生活や就労、ひきこもりなど複合的な課題を抱えて生活に困窮している人の相談を受け自立計画作成、就労支援や家計相談などにより関係機関と連携し自立を支援します。



### 住んでみたい街シアトル

姉妹都市提携40周年を記念して先月末からコンコード市を訪問した。今まで5年ごとに交互に訪問し、ホームステイによって市民同士のフレンドリーな交流が続けてきた。今回も熱烈的な歓迎を受け、45人の訪問団全員が大きな感動をいただいで帰国した。

ある。今回立ち寄ったのは、東日本大震災における当市の被災地支援をバックアップしていただいたMicrosoft社への御礼のあいさつと、この近隣計画プログラムの効果の検証をするためである。

交流の様子はまた別の機会に報告することとし、今回は途中訪問したシアトル市について報告したい。同市はアメリカ西海岸北部ワシントン州の中核都市として発展し、人口は約60万人、ボーイング社やMicrosoft社、Amazon社などの著名な企業が生まれた都市である。また20年前、現在北上市が進めている、都市計画マスタープラン地域別構想(近隣計画プログラム)を地区単位で策定している都市でもある。今回立ち寄ったのは、東日本大震災における当市の被災地支援をバックアップしていただいたMicrosoft社への御礼のあいさつと、この近隣計画プログラムの効果の検証をするためである。

このプログラムは数百回の市民ワークショップによって策定され、民間主導の形で実施されたと聞いている。市担当者の話によると土地所有者がどれだけ計画に協力したかで成否が決まったとのことであり、Microsoft社の共同創業者であったポール・アレン氏も協力者の一人だったそうである。また、公共交通についても視察したが、LRT(路面電車)、トロリーバス、路線バスが複雑に混在しており、利便性は別として、環境負荷の小さい都市を目指している。コミュニケーションは市内で30以上あり、住民の富裕度によって住宅街もあれば、貧困地区では景観や治安に課題を抱える地区もあった。貧富の差というアメリカ社会特有の課題はあるが、総じて美しく、海の幸も豊富で、住んでみたい街という印象を抱いた。